



日高山脈のある場所 十勝芽室町



日高山脈とは

日高山脈は、北海道中央南部を走る北海道唯一の山脈で、国内最大の国定公園でもあります。幌尻岳を最高峰とする海拔1,500メートル～2,000メートル級の山々が連なり、氷河の痕跡「カール」、稜線の鋭く切れ込んだ「ナイフリッジ」などの地形が見られるのも特徴です。日高山脈の山々には、整備された登山コースは多くありません。山に近づくには道のない沢を遡行しなくてはならないことも多く、アプローチが相当長いことから、人は立ち入ることを拒む厳しい姿がそこにあります。国定公園として最大規模を誇る日高山脈は南北約150キロにわたり、十勝の多くの市町村から、その姿を眺めることができます。上記の写真の通り、全体が收まらないほどのその雄大な姿は、被写体としても人々を魅了しています。十勝から眺める日高山脈を見て「十勝の中でこの眺めが一番好き」「十勝に帰ってきたんだ」と感じるが多くいるのです。

十勝・日高山脈観光連携協議会

日高山脈襟国定公園は、国定公園の資質にふさわしい景観要素などが確認されており、2024年に「国立公園化」に向けた調整が進んでいます。このことは十勝観光にとって大きなチャンス！である一方、「日高山脈」と聞いて「十勝」に面した国立公園であるという認知は低いことから、一丸となってこの認知を高めようと日高山脈に面する十勝エリア6つの市町村（帯広市・清水町・芽室町・中札内村・大樹町・広尾町）が集まり、当協議会は2022年3月に設立されました。

取り組みの一例紹介

● 魅力発信冊子「無二～日常は日高山脈の麓に～」の発行



日高山脈の麓で暮らし、日高山脈を愛する6名の方々へのインタビューをまとめた冊子です。

誌面の政策にあたっては、「十勝に暮らしている人こそ日高山脈のことを知ってほしい・誇りに思ってほしい」という想いのもと、地元住民が読者として想定されており、暮らしのなかの当たり前の景色である日高山脈を、改めて唯一無二の存在として再認識できる内容となっています。（発行日：令和6年1月7日）

● 日高山脈遊覧フライトツアーの実施

就航前保育チャーター機を活用し日高山脈一帯の景観を上空から楽しむことができるフライトツアーを実施しました。フライトのほか、環境省帯広自然保護官事務所による「日高山脈チチ勉強会」や航空大学校見学も行程に取り組み、53名の方々に参加いただきました。

日高山脈についてさらに「見る・知る」はこちらから



魅力発信冊子「無二」の電子版
十勝観光連盟HP内にて
公開しています！



YOUTUBEチャンネル「十勝・日高山脈観光連携協議会」
PR動画や無二の動画などをアップしています！

芽室会 ニュース

ふるさと芽室町の応援団の
全国に3か所（東京・札幌・旭川）ある
ふるさと会のニュースをお届けします。

東京・芽室ふるさと会

3月から改名・新体制でスタート！

昨年の5月の総会を最後の開催とし、今後は懇親会を中心に行う形となった東京芽室会。3月から「東京・芽室ふるさと会」と改名し、79名の会員で再出発することとなりました。新しい組織では、正会員ともいべき「懇親会員」が32名、準会員にあたる「登録会員」が47名となり、新しい会員が2名増えました。

【東京・芽室ふるさと会 会員及び世話人一覧表（令和6年4月1日現在）（敬称略・順不同）】

代表世話人 梶澤政治

（世話人）

田中正人 鈴木 弘 吉野千枝子 山口幸雄

（顧問）

涉外・広報担当 栄前田勝良

（懇親会員）

上田廣一	尾山幸夫	青木康	関谷健司	栄前田勝良	大澤さよ子	梶澤政治	小室豊	立川談吉
加藤ユキ子	斎藤梢	境野真吉	佐野 博	鈴木弘	小川喜重子	高橋浩	田中正人	林米治
松永一敏	武田富士雄	村上治	山口幸雄	太田啓滋	遠藤健	池田もも子	阿部幸雄	守屋義美
中島誠二	奥村隆夫	吉野千枝子	福井妙子	西岡晶子				

（登録会員）

荒岡捷枝	岩本清美	浦野広明	栄前田茂	大村賢三	後藤樹	瀬川高幸	辻井愛子	吉木健
大谷 親	横地泰公	加藤忠	後藤孝	境野晶夫	森田克己	笠原紀久夫	西野 剛	長田季子夫
余西吉巳	向井栄作	及川康	泉信示	長井克美	松永治男	剣持君子	大村忠夫	酒井信幸
島田利昭	清水麗子	鶴田美紀子	姫野大	横川屹	福島幸市	川内克忠	遠山定雄	阿部勝雄
阿部房子	船渡清寿	飯沼真一	早苗稔夫	上谷正	鈴木正代	小森金雄	新妻和郎	外山友子
青山利幸	小森博司							

事務局

〒278-0015 野田市西三ヶ尾745-5 梶澤事務所内 東京・芽室ふるさと会
電話 04-7138-8356 FAX 04-7138-8366

ふるさと会の情報をHPで掲載中です！

会のご案内や報告など芽室町のHPを通してお伝えしたい事項があれば掲載いたします！
掲載希望の場合は、芽室町魅力創造課までご連絡ください！
電話：0155-52-9736 （担当：販取）

ホームページQRコード



私たち芽室町は

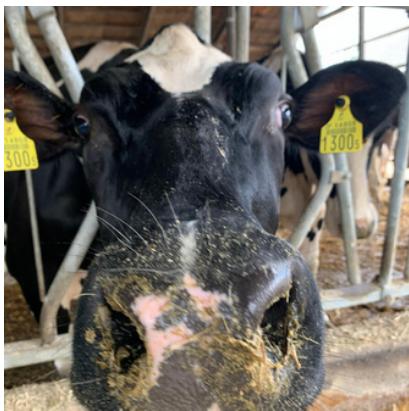
「みんなで創り
みんなでつなぐ
ずっと輝くまちめむろ」



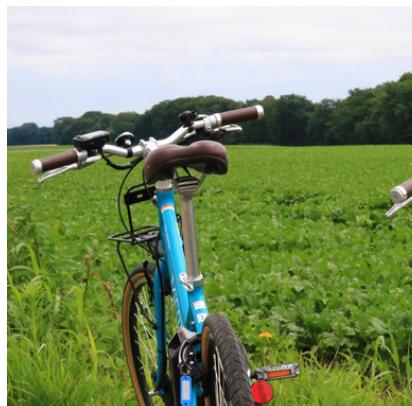
を実現するために

まちづくりに取り組んでいます。

私たちは
理想の姿を実現するために
このまちの未来を
語りつづけます



みなさんも
ふるさと芽室町の応援団に
なってくれたら嬉しいです



ホームページ インスタグラム



フェイスブック



ふるさと納税



あなたの想いをふるさとへ。

今の芽室って どんな感じ...?

氷灯夜2024開催！

町を代表する冬の一大イベント「めむろ氷灯夜2024」が2月10日、芽室公園で開かれた。アイスキャンドル約3,000個の明かりが、訪れた家族連れや学生らお客さんを温かく包みこんでいました。

イベントは、町観光物産協会が主催し、町内各種団体や役場の若手でつくる実行委員会（葛西将太実行委員長）が主管。今年は、昨年より規模が大きくなったジャンボ滑り台や初開催の相撲大会では、雪でできた土俵で小学生から大人までが熱い戦いを繰り広げました。

日が暮れた17時にキャンドルの点灯式が行われ、来場者も協力しながら次々と火をともすと、会場中央には「2024メムロ♡」の文字が浮かびあがりました。

19時50分からはイベントのフィナーレを飾る花火が打ち上げられ、芽室の冬の夜空を彩りました。



うみやまイルミネーション コラボレーション！

2月18日、広尾町の旧野塚小学校で芽室町のアイスキャンドル、広尾町の木製ランタンのコラボイベントが行われました。

これまで、広尾町は比較的気温が高く、アイスキャンドルをうまく作れない環境だったそうです。そこで昨年より、芽室町で作ったアイスキャンドルを持ち込むことで開催にこぎ着けました。

当日は、両町からの参加店舗の飲食やクラフト品などの販売のほか、うみとやまの両町の食材などを使用した「うみやまミニピザ」の手作り体験が行われました。当日は町内外から約250人が訪れ、会場は大いに盛り上りました。今後も友好都市の交流に期待です！

芽室町魅力創造課からも「芽室といえば」の商品の物販を行いました。マチルダやコーンサイダーなど好評をいただきました♪



総合体育館のキッズスペース オープン！

町の総合体育館内に3月1日、子どもたちが天候に関係なく屋内で体を動かすことができる「キッズスペース」が誕生し、供用を開始しました。

キッズスペースは同体育館内の旧トレーニングルームを改修。広さは225平方メートルで、床は全面軟らかい素材のクッションマットを採用しました。

3歳児～小学生を対象としたAエリア（148平方メートル）と0～2歳児を対象としたBエリア（76平方メートル）に分かれます。

Aエリアには長さ約9メートルの「ロングトランポリン」やボルダリングを楽しめる「クライミングウォール」があります。Bエリアには、ハイハイで上り下りの動きができる遊具や、つかまり立ちの子どもが楽しめる壁付遊具、木製の滑り台などをそろえ、成長に合わせた遊びが楽しめるようになっています。また、保護者の要望を反映して、授乳室やベビーベッドなども設置されました。

体育館では、キッズスペースの供用と同時に、第62代横綱の大乃国・栄光の記録をはじめ、町出身のスポーツ選手の資料を集めたアスリートミュージアムもオープンしました。



「それいけ！ ゲートボールさくら組」 の映画上映会が行われました！

3月3日（日）、中央公民館で「それいけ！ゲートボールさくら組」の映画上映会が行われました。

この映画は、昨年5月に全国公開されましたが、残念ながら北海道での上映はありませんでした。

ゲートボールを題材にした映画であり、発祥の地である芽室町で上映を！と芽室町ゲートボール推進協議会が尽力され、今回の上映会が実現しました。多くの方が上映会に足を運ばれ、鑑賞後は口々に「面白かった」と話しながら会場を後にしていました。

チームスポーツであるゲートボールの良さを感じられる映画です。上映会は終了しましたが、今後機会があればぜひご覧ください。

職員インタビュー 02

北海道から派遣！「マロンキャッスル」にあれこれ聞いてみた！



栗城 広賢

※令和5年6月より北海道庁から2年間の派遣

ニックネーム / マロンキャッスル
(「栗城」を英訳しました)

趣味 / スキー、サウナ、ドライブ

好きなもの / 野球観戦、飲み会

マイブーム / ちいかわ

茅室町で仕事をしてみて・・・

昨年の6月より茅室町役場に職員派遣でお世話になり、なんか色々と楽しくやっているうちに春になってしまいました！

僕自身は道民で、茅室町と同じく道東の白糠町（みなさん知っていますか？）出身ですが、十勝の冬は一段と寒く、さらに赴任当初の夏はずっと30°C越えと慣れるまでなかなか大変な日々でした...

さて、「気づき」を書いてほしいという担当からの要望でしたので、いくつか挙げていこうと思います！

まずは「町民のチャレンジ」がめちゃくちゃ多いこと！

下の欄でも紹介されていますが、新しいお店が続々オープンしたり、町のイベントに前向きな人が多い印象！常に新しい動きがあるのが茅室町の特徴なのかなと思います。

そしてやはり「晴れの日が多い」！冬は特に多い印象。

これは北海道に慣れた道民でも十勝に来れば違がわかると思います！

これからもまだまだ前向きな「気づき」を探していこうと思いますので、みなさまよろしくおねがいします。

茅室町でどんなことをしているの？

ふるさと会担当餌取が栗城さんに質問！

※以下表記 餌取=え 栗城さん=ク

え：栗城さんが茅室町に来るきっかけはなんだったんですか？

ク：来るきっかけは職場の人事で「行ってこい！」と言われたのが正直なところだけど、今では茅室町に来れて本当によかったです！

え：人事に感謝！来てくれてありがとうございますっ！

係ではどのような業務を担当されているんですか？

ク：今年の夏頃に茅室もエリアに含まれる「日高山脈襟裳国定公園」が国立公園に指定されるので、その関連のPR業務をやっています！色々な観光の動きと繋げられるといいな～

え：日高山脈に改めてスポットがあたり、私も一町民として本当に嬉しいことです♡

最後に、茅室での生活をやってみての感想を一言！

ク：茅室に来て1年弱だけど、地域の色々な人に仲良くしてもらっているので、どんどん輪を広げていけたらいいなーと！まだまだ茅室の知らない所も多いので、残り1年全力で楽しめてもらいます！！

魅力あふれんばかりの新しいお店

【自然の中でゆっくりできるカフェが上茅室にオープン！】
Cafe Kringel(カフェクリンゲル)



デンマークの料理「クリンゲルデニッシュ」を看板メニューとする「カフェクリンゲル」が2月、茅室町内にオープンしました。デニッシュは町内のパン屋あさひやの生地を使用しており、デニッシュの上に乗せる具材は季節によって替わるそうです。仕出料理などを手掛けるめむろプランニングのカフェ部門としてオープン。

【テイクアウト専門のコラボスイーツ店が役場裏にオープン！】
Melanger Labo.(メランジェラボ)



落花生などの茅室町特産の食材などをふんだんに使ったフィナンシェドーナツをテイクアウトで販売する菓子店「メランジェラボ」が3月25日、三浦商店の事務所前に開店しました。店名の「メランジェ」とはフランス語で「混ぜ合わせる」を意味し「農業の町である茅室だからこそ、農家との連携が実現できる箱をつくりたい」と菓子店を計画してきたそうです。

編集後記

ふるさと会のみなさんこんにちはふるさと会担当の餌取です。今年度も大変お世話になりました。3月21日に庁舎内の人事異動の発表がありました。4月1日より新たな部署で業務を行う職員もいます。が、私は異動がなく引き続き魅力創造課でお仕事ができることとなりました。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。茅室町に帰られた際は是非魅力創造課に遊びにきてくださいね～♪

